



こうじなふみひろ
神志那文寛

こう えき 口てい疫への対策は万全か

～農家が経営を持続できる
体制づくりに努める～

質

宮崎県内で口てい疫感染が289ヶ所に広がっている。畜産業が大きな比重を占める本市では、どんなに対策を行っても行いすぎるといふことにはならないと思う。対策は、思いつく限り万全に行うよう求める。

答 市長

○ウイルス侵入防止対策は、全偶蹄類飼育農家への消毒用消石灰配布、公共施設では車両消毒用消石灰ポイントの設置と人の出入口に消毒マットの設置を行っています。



消毒用マット



石灰を散布する畜産農家



車輛への消毒液散布

○畜産農家への支援は、消石灰の無償配布とともに、5月、6月市場延期に係る経費への一部助成として飼料の現物給付を緊急に行いました。

また、市独自に「口蹄疫対策支援資金貸付制度」を設置し、市場延期による雌子牛保留にも助成を行うこととしました。

○国や県に対しては、経営や生活が非常に困窮し、廃業寸前まで追い込まれている農家も発生していますので、新たな支援策の創出と要件緩和を要望しています。

○万が一、市内で発生した場合への備えとして、対策本部会議において家畜殺処分、畜産農家の理解対策や殺処分家畜の埋却場所の確保など、諸問題の解決に向け取り組んでいます。

また、職員の役割掌握を目的に演習を行う予定です。第1に初動防疫対策、第2に防疫支援、健康支援の流れの中で迅速に対応できる体制を構築する予定です。

○口てい疫は感染力が強く、感染経路も解明されていません。感染すれば畜産業、さらに商工観光業にも大きなダメージを受けることが予想されますので、今後も市民への情報提供を行い、協力を依頼するとともに、風評被害等対策として、畜産物の肉や牛乳は感染とは関係ないことを周知徹底してまいります。



REPORT 視察研修

委員会審査を掲載

Inspection 1

宮城県栗原市議会



本 委員会は、議会広報のさらなる向上や、いま以上に読みやすく分かりやすい広報紙の発行を目指すため、去る5月10日から12日までの日程で、「宮城県栗原市議会」と「宮城県大和町議会」の両議会を訪問しました。

さまざまな工夫

Inspection 2

宮城県大和町議会



Inspection 1

宮城県栗原市議会

議会広報編集調査
特別委員会

① これまででは一般質問中心の構成であったが、委員会審査の内容が分からないという市民の声があり、21号から各常任委員会に1ページを割り当て、委員会の中で掲載内容・構成を検討しています。

それぞれの委員会に付託された議案への質疑・答弁、行政視察報告、所管事務調査、請願・陳情などを掲載しています。

② 定例会本会議での議案審議の際に、意見が分かれた議案については、一覧表に、各議員の氏名と賛成したか反対したかを○×で表し掲載しています。

この一覧表の掲載に異論はなかったとのこと。

Inspection 2

宮城県大和町議会

議会広報調査
特別委員会

① 議会報の創刊は昭和44年8月で、最新号は164号と長い歴史を誇っており、広報研修会への参加、先進地視察も活発に行っています。

② 広報紙の作成にあたっては、数々の工夫をされています。

- ・ 再生紙使用
- ・ 一般質問者顔写真掲載
- ・ 町民参加ページ掲載
- ・ ホームページに掲載
- ・ オールカラー化

(2色刷りから、すべてのページをカラー化しても、印刷の手間はカラーにした方がやりやすく、単価的には変わらないとのこと。)

- ・ 質疑・答弁を、である調に統一
- ・ 文字サイズを10.5ポイントから11ポイントへ大きく

など、読者に配慮した紙面づくりを行っています。